

外書セミナーで何を学ぶのか

1. 外書セミナーの目的

大学は、すでにできあがった既存の知識をテキストなどを通じて学ぶだけでなく、新しい知識の創造に参加する場でもあります。そのために必要とされる“技能”や“マナー”を身につけることがセミナー科目では目指されており、これを英語の学習と併せておこなうのが外書セミナーの目的です。

2. セミナーのテーマ

このセミナーでは、英文の文献や資料をつかって、企業や社会経済にかかわるテーマを幅広く学習します。

3. セミナーのマナー [とても重要]

- (1) セミナーに「出席」するのは当然のことです。学習プログラムは、段階的に構成されているので、遅刻や欠席が後になって響いてきます。
- (2) 授業に積極的に「参加」する姿勢が不可欠です。セミナーの活動に貢献し、お互いの学習を助け合うことが求められています。また、遅刻や居眠りを繰り返すなど、教室の雰囲気を乱す人には単位を出しません。
- (3) ソフト・ドリンク (soft drinks) を教室内で飲んでよいです。想像力を働かせるためには、肩の力を抜いてリラックスすることが大切です。ただし、図書館など飲食物の持ち込みが禁止されている建物でセミナーをおこなう際には、当然その規則に従うことになります。
- (4) 学ぼうという姿勢の見られない学生に対しては、退室などの強制措置をとるほか、成績評価に厳しく反映させます。温情的に単位を認定するようなことは一切いたしません。
- (5) やむなく欠席せざるを得ない場合は、前もって連絡するのが礼儀であり当然の義務です。とくに当日に報告を担当している場合は、別の人に報告を代わってもらうなど、各自の責任で適切な対応をしてください。突然の欠席は、他者に迷惑をかけるだけでなく、あなた自身の単位習得の可能性がなくなることを意味しています。

4. 成績評価について

成績評価の範囲はセミナー活動のすべてに及びます。クラス・ディスカッションへの参加度、友人の報告に対する建設的批判、報告会の運営やチームワーク、ゼミナール報告大会への参加はもとより、授業で使う資料の用意など、すべてを含みます。上記のセミナーのマナーも評価の対象です。これらを総合的に勘案して最終的な評価をおこないます。配点はおおよそ次の通りですが、課題の達成度と授業の進捗状況を勘案して調整・変更します。個人報告2回 (25%)、英文の報告と報告へのコメント (40%)、参加度 (35%)。周りの学生を納得させるような優れた意見については、100点満点を超えて、加点することがあります。

無断欠席は減点の対象になります (8点/1回)。遅刻は2回で欠席1回にカウントします。30分以上の遅刻は欠席とみなします。欠席 (および欠席換算の遅刻) が全授業日数の3分の1を超える場合は、単位評価の対象から外れることになります。欠席がちの人は授業に参加していないために、3分の1を超える前に、単位の修得が難しくなっています。

5. ウェブサイト (授業用資料の配付、授業連絡)

この外書セミナーには専用のウェブサイトがあります。さっそく下記のサイトを訪ねて、授業で使う資料を印刷してください。moodle からこのページに入ることが出来ます。

<http://www.cc.kyoto-su.ac.jp/~ueno/students/english.html>

6. 特別授業

就職ガイダンス： 10月11日 _____ 教室

ゼミナール研究報告大会 11月9日 水曜日

大学生基礎力レポート： 11月15日

レポートの書き方： 12月6日、13日 ラーニング・コモンズ